

2023年度 予算 のお知らせ

2022年度 決算見込み

2022年度決算は、収入38億5,266万円、支出26億1,963万9千円となり、収支差し引きで12億3,302万1千円の黒字となる見込みです。財政の健全化を示す経常収支でも3億5,955万7千円の黒字を見込んでいます。これは、前期高齢者納付金および後期高齢者支援金の負担が、例年よりも少なかったことによるものです。

2023年度 予算概要

2023年度の経常収入は25億2,757万8千円、経常支出は29億3,321万8千円となり、経常収支差し引きでは4億564万円の赤字予算となりました。高齢者医療制度など国へ納める納付金は8億6,412万9千円と見込まれています。納付金のうち前期高齢者納付金については、2024年度から、総報酬割の導入の影響を受けて大幅に増加していくことが予想されるため、準備金等の蓄えを保つ必要があります。

高額な医療費支出に備えた保険給付費の予算額

コロナ禍の受診控えなどによる医療費の減少は、2021年度に回復し、増加傾向に転じています。2023年度は前年度並みを見込んでいますが、不測の高額医療が発生した場合を勘案し、16億5,611万1千円の予算額としています。

当健保組合の健康課題を克服するための事業に

皆さんの健康増進をバックアップする保健事業費には3億1,560万円を充てています。特定保健指導の継続対象者や婦人科系がん検診の継続未受診者を減らすこと等で、健保全体の健康課題の解消に繋げてまいります。

健康保険組合としましては、引き続き一層の経費の削減および効果的な健康増進事業に努めてまいります。皆さんにおかれましては、保健事業をご活用いただき健康な身体づくりを目指していただくとともに、適正受診等、医療費の削減にご協力いただきますようお願いいたします。

介護保険

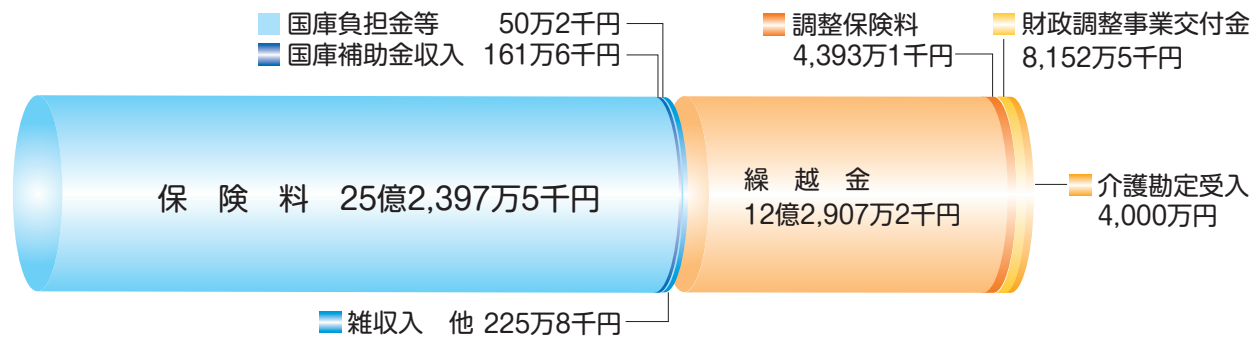
介護保険料収入は5億779万4千円と見込んでいます。一方、介護納付金は4億6,311万円と見込んでおり、2022年度に一般勘定から受け入れた4,000万円の返還を含め、468万4千円の黒字予算となりました。しかし、年度の初期は納付金支払いに保険料収入が不足するため、一般勘定から3,000万円を繰り入れ月次の納付金の支払に充てます。

収 入

39億2,287万9千円

経常収入

25億2,757万8千円

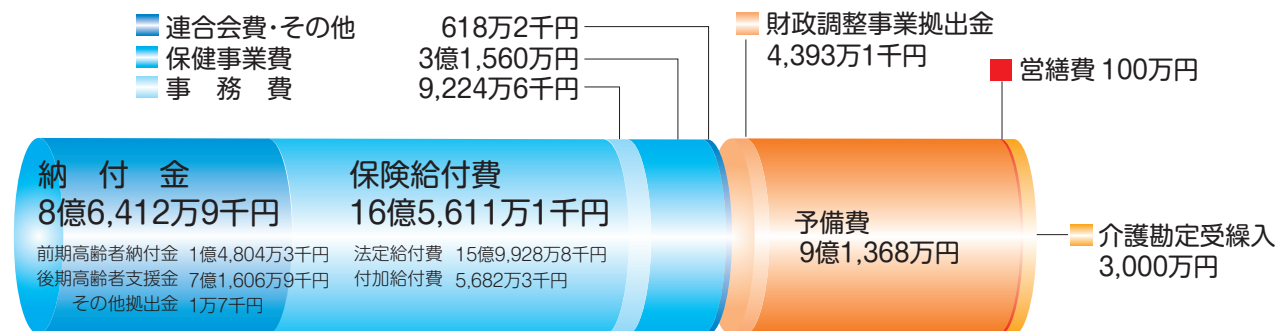


支 出

39億2,287万9千円

経常支出

29億3,321万8千円



健康保険

予 算 総 額	39億2,287万9千円
経 常 収 入	25億2,757万8千円
経 常 支 出	29億3,321万8千円
経 常 収 支	▲4億564万円

予算基礎数値

被保険者数	3,626人
男性	2,618人
女性	1,008人

平均年齢	45歳
男性	46歳
女性	43歳

被扶養者数	4,754人
-------	--------

前期高齢者加入率	0.484429%
----------	-----------

保険料率 (調整保険料率含む)	83.00/1000
--------------------	------------

(事業主 51/1000 被保険者 32/1000)

介護保険

予算基礎数値

介護保険第2号 被保険者たる被保険者数	3,891人
------------------------	--------

介護保険料率 (事業主・被保険者折半)	20.00/1000
------------------------	------------

予算の概要

(単位:千円)

科 目	予算額
介護保険収入	5億779万4千円
繰越金	4,931万5千円
繰入金	1千円
雑収入他	2千円
一般勘定受入	3,000万円
合 計	5億8,711万2千円

科 目	予算額
介護納付金	4億6,311万円
還付金	1千円
積立金	1千円
雑支出	2千円
予備費	8,399万8千円
一般勘定繰入	4,000万円
合 計	5億8,711万2千円